平成 22 年 5月 1 日
第 36 号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 原田憲一郎
電話 972・7602

地域環境保全に地区一丸



農地・水・環境保全向上対策は、日本の農地を守り、食料生産の基本を支えることを大きな目標としています。また共同活動を通じて地域のコミュニケーションアップも期待されています。農業新聞では、その効果について調査結果を発表しています。その中で、多くの集落で話し合う場が増えたとされていました。

八方原地区でこの活動が始まったのは3年前の平成19年からです。当初は様々な考え方のなかで、必ずしも全戸の参加が得られませんでした。しかし、いろいろな事情が重なった結果、農業関係者全員の参加が得られることになりました。

今後はこれまで以上に連携のとれた地区一丸の活動が展開できると確信しています。

中央政府の中では、政治的な思惑なども絡んで「土地改良事業」への予算の削減が取りざたされています。しかし、食料自給率40％に満たない我が国の危機的な事情を考えれば、農地の保全と集落の活性化の必要性は議論の余地はないのではないでしょうか。

3月の農事組合法人の発足と相まって地区の潜在的なパワーはより大きなものになっています。みんなで頑張りましょう。



水路の一斉清掃で持ち場に移動する参加者（平成 21 年 5 月）

天候不順のもたらす影響

今年の春の天候不順は、各地で野菜の生育に変調がおき、出荷出来ないという状況がおきています。そんな中で全く天候に影響を受けないという野菜生産も一部にあるようです。

室内で人口の光で野菜を育てる「野菜工場」と呼ばれる新たな生産方式が、この時期脚光を浴びています。栽培には土を使いません。水耕栽培です。必要な養分を補給しながら水は循環されています。太陽の光の代わりは特殊な蛍光灯です。害虫からも完全にシャットアウト、まさに工場です。

先日のＮＨＫテレビ番組で「レタス」の話しがありました。食卓には欠かせないレタスが日本に入ってきたのは終戦後です。占領軍のマッカーサー元帥はステーキの付け合わせとなる生野菜がないというので、野菜の温室栽培を命じたとのことです。その温室は広さ22ｈａといいますから、米国的というかびっくりです。

自然の力は人間の及ぶものではありませんが、少しの工夫で少しだけ状況が変わるかも知れません。どこかで折り合いをつける必要があるのではないでしょうか。

芸達者が盛上げた八方原敬老会

4月25日八方原公民館



△石田勝子さんたちの銭太鼓
一番大きな声援が飛んだのは柿谷さんの旅烏▽



高齢者への感謝と尊敬を区として形にするものが八方原地区敬老会です。毎年4月に行われますので、区の行事の中ではかなり忙しいものになります。今年も、数え歳70才（昭和16年生まれ）以上の方々を招待して行われました。

会場には43名のお元気さんがお集りくださいました。用意した食事と飲み物を召し上がっていただきながら、歌や踊りなどを楽しみました。



重富敏子さんがリードした「もったいない」

みなさんの芸達者ぶりには毎回驚かされます。歌は勿論、踊り，ダンス、それに漫談まであります。

やんやの喝采、合いの手、にぎやかで楽しい時間は瞬く間に過ぎました。長寿と健康に万歳。

◇ゴミ出しルールを守りましょう◇

ゴミ出しのルールがなかなか守られません。4月13日には、燃やせるゴミの中に、出してはいけない大きなマットが入れてありました。

「適正でないので収集できない」という張り紙を貼って、そのゴミ袋はその場におき去られます。その後、衛生部長がそのゴミの始末をすることになります。ゴミの集積所はきれいに片付けられ、不適正なゴミ出しをした人は何にも負担がないという奇妙な事態がおきています。

燃やせるゴミだけでなく、プラスチックやペットボトルなどでも同じようなことが見られます。最低でもルールは守らなければいけませんが、どんなものでも誰かの手を借りることになることを忘れないようにしましょう。



地区の行事にご参加ください

区長からのお知らせ

平成22年度の地区総会が4月10日にありました。従来の行事に加えて少し新たな活動を加えました。

5月30日には農業関係者だけが行ってきた水路の一斉清掃に出来るだけ多くの一般区民の方も参加していただくように計画しています。また、市道の草刈りを実施します。今まで一部の役員が行ってきたものですが、これを拡大してより効果のあるものにしていきます。年間計画では6月20日を予定しています。作業の詳細は後日お知らせします。

体育行事が小郡地域大運動会からスタートします。毎回、体育委員さんは出場者の選出に苦労をされています。どうか区民のみなさんの積極的な参加をお願いします。

昨年度は荒天のために綱引き大会に変更になり、地区としては参加しませんでした。しかし、終わってみると勝っても負けても参加した方が良かったという声もありました。折角の大会です。みんなで楽しみましょう。